

去の対応策が有効であったかの評価を行う機会となりえる。これらの点で本システムは過去の知識や経験を、現在と共有することを実現したシステムといえる。

形態素解析に茶筌を利用したが、医療用語を過分割してしまうことがあり、それが精度を下げている可能性がある。今後は専門辞書の追加、辞書のチューニングを行い、それを踏まえた医療リスク辞書を開発する必要がある。

データマイニング手法を用いたインシデント分析と対応させることで、過去の対策表示とともに、対策案を立てる際に有用な情報も同時に表示するような総合的なシステムを構築することも提案できる。

D-3. インシデント対策支援システム

形態素解析された事例報告書から **Medical-SAFER** に必要な日付・時刻記述、登場人物・場所の記述を半自動で抽出し、**Medical-SAFER** のための分析ドキュメント作成を支援するシステムを構築した。分析者自身によって抽出された用語はシステム内の用語リストに逐次登録する機能を持たせた。これは一種の学習機能と呼ぶことができ、分析を行えば行うほど自動抽出の効率が向上する。

事例報告書や複数のインシデント報告から日付・時刻記述、登場人物・場所の記述を漏れなく抽出することは非常に困難である。本システムにより日付・時刻記述、登場人物・場所の記述を抽出する際のエラーを低減させ、**Medical-SAFER** への導入をスムーズにすることを可能とする。

今回は試験的システムであったため、事例報告書のデータのみを利用したが、今後はインシデント報告システムと連携し、そこで報告されたデータも利用して、多くの情報を取り入れるシステムにする必要がある。北海道大学病院のインシデント報告システムは当事者以外の発見者や目撃者なども報告できるマルチプルな報告システムであるので、これを利用することでインタビューの効率化や正確性が増すことにつながると予想される。さらにデータマイニング手法を用いたインシデント分析もシステムに組み入れることで、迅速に対策案を立てるべき対象を効率よく絞り込むことができる²⁷⁾。

我々は現在、まだこのシステムを利用して **Medical-SAFER** を行ってはいないが、実際にこのシステムで作成した分析ドキュメントを利用して分析を行い、さらに使いやすいシス

テムへとブラッシュアップさせていかなければならない。

E. 結論

医療リスクマネジメントの分野では、インシデントやアクシデントの対応策を考案し、実行すること、さらにそれを評価することは非常に困難である。しかしながら、それらを行う上で知識や経験を共有することができれば、有効性や確実性、迅速性を向上することにつながる。実際に共有するためには、それらが分かりやすい形で表現されていること、利用しやすいように整理されていることはもちろんのこと、その表現形式や整理手法の信頼度が保証されている必要がある。現在の病院情報システムは、多岐にわたる大量のデータが蓄積されているが、先述のようなリスクマネジメント対策への利用を考慮したものではない。また、そのデータをどのように収集、処理すればよいのかについての明確な指針も用意されていなかった。

本年度の研究では、インシデント事例データのパターン分析により、個々のデータ特性を活かしたかたちでインシデント対策を立案できる有益な方策を得ることができた。また、開発された2つの支援システムの運用を経て、過去の事例からの効率的な検索、ヒューマンエラーの観点から分析する必要項目の抽出手段を確立した。

3カ年にわたる本研究の成果は、開始当初に掲げた主目的である「外科系分野の過去のインシデント事例の分析から対策事例データベースを構築、それを応用したインシデント対策を立案する支援システムの実現」への起端となる。また、更なる研究の推進により、将来的な展望でもある、医療の全領域に対応できる統合的なリスクマネジメント支援システムへ至る道筋が得られると期待する。

参考文献

- 1) 河野龍太郎. Medical-SAFER ver1.0 H17 年度 HDP 質安全エキスパート養成セミナー. NDP 事務局. 2005.
- 2) 一石賢. 道具としての統計解析. 株式会社日本実業出版社. 2004.
- 3) 柳井久江. 4Step エクセル統計. 株式会社 星雲社. 2004.
- 4) Michael J.A. Berry, Gordon Linoff. データマイニング手法. 海文堂出版株式会社. 1999.
- 5) Michael J.A. Berry, Gordon Linoff. マスタリング・データマイニング理論編. 海文堂出版株式会社. 2002.
- 6) Weka : <http://www.weka.de/home.php>
- 7) 森典彦, 田中英夫, 井上勝雄. ラフ集合と感性, 海文堂出版株式会社. 2004.
- 8) Zdzislaw Pawlak, Rough Set, COMMUNICATION OF THE ACM, November 1995, vol.38, No.11
- 9) 小笠原勝彦, 寺下貴美 他. ラフ集合によるインシデントレポートからのインシデント発生要因の分析. 日本医療情報学会 第 25 回医療情報学連合大会論文集. 2005.
- 10) 厚生省保健医療局, リスクマネジメントマニュアル作成指針, 2001.
- 11) 厚生労働省 : <http://www.mhlw.go.jp/>
- 12) 吉村賢治. 自然言語処理の基礎. サイエンス社. 2000.
- 13) ChaSen : <http://chasen.naist.jp/hiki/ChaSen/>
- 14) 松本裕治, 北内啓, 山下達雄 他. 形態素解析システム「茶筌」version2.3.3 使用説明書. 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 自然言語処理講座. 2003.
- 15) 西本尚樹, 谷川琢海 他. 標準病名辞書による画像診断用語の形態素解析. 第 24 回医療情報学連合大会論文集. 2004.
- 16) 浅原正幸, 松本裕治. IPADIC ユーザーズマニュアル version2.5.1. 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 自然言語処理講座. 2002.
- 17) Ian H. Witten. Data Mining. MORGAN KAUFMANN PUBLISHERS. 2000.
- 18) JUSTSYSTEM : <http://www.justsystem.co.jp/>
- 19) ROCKIT : <http://www-radiology.uchicago.edu/krl/>
- 20) 河野龍太郎. 医療におけるヒューマンエラー なぜ間違えるどう防ぐ. 医学書院. 2004.
- 21) 株式会社ドウウェル : <http://www.dowell.co.jp/hp/product/report/index.html>
- 22) 西本尚樹. 「画像診断領域に置ける医学文書の特徴抽出とその概念解析」-医学論文抄録と読影レポートの形態素解析とその複合語の解析-. 北海道大学大学院医学研究科 医科学専攻修士課程 修士学位論文. 2006.
- 23) 西本尚樹, 蔣国謙 他. 画像診断領域の論文抄録に含まれる複合語の意味的分布の調査. 第 25 回医療情報学連合大会論文集. 2005.
- 24) 上田太一郎. データマイニング実例集. 共立出版株式会社. 2000.
- 25) 上田太一郎. データマイニング実践集. 共立出版株式会社. 2001.
- 26) 上田太一郎. データマイニングの極意. 共立出版株式会社. 2002.
- 27) 寺下貴美, 谷川琢海. インシデント報告に対するデータマイニングを用いた要因分析の試み. 日本医療情報学会 第 24 回医療情報学連合大会論文集. 2004.

別紙 1

決定木分析結果

平成 15 年度

第一	第二	第三	第四	第五	場面
当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生日 = 11 月	対象 = 外来患者		その他の場面
当事者職種 = 医療資格 外職員					その他の場面
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生日時間 = 0 時～3 時台	発生日 = 火曜日	経験年数区間 = 1 3 ～1 5	ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生日時間 = 0 時～3 時台	発生日 = 金曜日	経験年数区間 = その 他	ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生日時間 = 0 時～3 時台	発生日 = 金曜日	経験年数区間 = 1 0 ～1 2	ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生日時間 = 0 時～3 時台	発生日 = 金曜日	経験年数区間 = 7 ～ 9	ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生日時間 = 0 時～3 時台	発生日 = 月曜日		ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生日時間 = 0 時～3 時台	発生日 = 木曜日		ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生日時間 = 1 8 時～ 2 1 時台	発生日 = 4 月	経験年数区間 = その 他	ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生日時間 = 1 8 時～ 2 1 時台	発生日 = 4 月	経験年数区間 = 1 0 ～1 2	ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生日時間 = 1 8 時～ 2 1 時台	発生日 = 6 月		ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生日時間 = 1 8 時～ 2 1 時台	発生日 = 9 月		ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生日時間 = 1 8 時～ 2 1 時台	発生日 = 10 月		ドレージン・チューブ類

当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 11月	発生週 = 日曜日	ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 11月	発生週 = 土曜日	ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 2月		ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 3月	発生週 = 日曜日	ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 21時～ 24時台			ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 3時～6 時台			ドレージン・チューブ類
当事者職種 = その他	発生場所 = その 他	発生時間 = 0時～3 時台			ドレージン・チューブ類
当事者職種 = その他	発生場所 = 外科 領域				ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生月 = 4月			ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生月 = 12月	経験年数区間 = 4～ 6		ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 4～ 6	発生時間 = 15時～ 18時台		ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その 他	発生月 = 9月	発生時間 = 21時～ 24時台	ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 1～ 3	発生時間 = 9時～1 2時台		ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 7～ 9	発生時間 = 15時～ 18時台		ドレージン・チューブ類

当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科 領域	経験年数区間 = 7～ 9	発生日 = 6月		ドレイン・チューブ類
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 0時～3 時台	発生週 = 火曜日	経験年数区間 = その 他	医療機器
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生日 = 3月	発生週 = 水曜日	医療機器
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生日 = 4月	経験年数区間 = 13 ～15	給食・栄養
当事者職種 = 栄養士調 理師					給食・栄養
当事者職種 = その他	発生場所 = その 他	発生時間 = 9時～1 2時台			検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生日 = 6月			検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生日 = 7月			検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生日 = 9月			検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生日 = 10月	経験年数区間 = その 他		検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生日 = 12月	経験年数区間 = 1～ 3		検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生日 = 12月	経験年数区間 = 10 ～12		検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生日 = 1月	発生週 = 木曜日		検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 1～ 3	発生時間 = 不明		検査

当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 7 ~ 9	発生時間 = 12時 ~ 15時台	検査
当事者職種 = 臨床検査 技師				検査
当事者職種 = 診療放射 線技師				検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生月 = 5月		合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生月 = 8月		合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生月 = 10月	経験年数区間 = 4 ~ 6	合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生月 = 10月	経験年数区間 = 19 ~21	合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生月 = 12月	経験年数区間 = 7 ~ 9	合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生月 = 2月		合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 4 ~ 6	発生時間 = 9時 ~1 2時台	合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 4 ~ 6	発生時間 = 6時 ~9 時台	合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 10 ~12	発生週 = 月曜日	合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 7 ~ 9	発生時間 = 21時 ~ 24時台	合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 22 ~24		合併症・副作用・偶発症

当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科 領域	経験年数区間 = 4～ 6				合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科 領域	経験年数区間 = 7～ 9	発生月 = 5月			合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科 領域	経験年数区間 = 7～ 9	発生月 = 7月			合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科 領域	経験年数区間 = 7～ 9	発生月 = 8月			合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科 領域	経験年数区間 = 13 ～15				合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 4月	経験年数区間 = 1～ 3		指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生月 = 10月	経験年数区間 = 10 ～12			指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生月 = 11月	対象 = 入院患者			指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生月 = 3月				指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 4～ 6	発生時間 = 12時～ 15時台			指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 4～ 6	発生時間 = 18時～ 21時台			指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その 他	発生月 = 4月	発生時間 = 9時～1 2時台		指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その 他	発生月 = 4月	発生時間 = 不明		指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その 他	発生月 = 5月			指示・情報伝達

当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経歴年数区間 = その 他	発生日 = 6月	発生時間 = 0時～3 時台	指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経歴年数区間 = その 他	発生日 = 6月	発生時間 = 15時～ 18時台	指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経歴年数区間 = その 他	発生日 = 6月	発生時間 = 18時～ 21時台	指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経歴年数区間 = その 他	発生日 = 7月		指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経歴年数区間 = その 他	発生日 = 9月	発生時間 = 18時～ 21時台	指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経歴年数区間 = その 他	発生日 = 9月	発生時間 = 6時～9 時台	指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経歴年数区間 = その 他	発生日 = 9月	発生時間 = 不明	指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経歴年数区間 = その 他	発生日 = 3月		指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経歴年数区間 = 19 ～21			指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経歴年数区間 = 1～ 3	発生時間 = 12時～ 15時台		指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経歴年数区間 = 7～ 9	発生時間 = 6時～9 時台		指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科 領域	経歴年数区間 = その 他			指示・情報伝達
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 0時～3 時台	発生週 = 火曜日	経歴年数区間 = 31 ～33	手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生日 = 7月	発生週 = 火曜日	手術・治療・処置・歯科 外来治療

当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 7月	発生週 = 月曜日	手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 11月	発生週 = 火曜日	手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 12月	経験年数区間 = 10 ～12	手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 1月		手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 3月	発生週 = 火曜日	手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 21時～ 24時台	発生時間 = 21時～ 24時台		手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 4～ 6	発生月 = 4月	発生時間 = 12時～ 15時台	手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その 他	発生月 = 4月	発生時間 = 15時～ 18時台	手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その 他	発生月 = 4月	発生時間 = 6時～9 時台	手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その 他	発生月 = 4月	発生時間 = 9時～1 2時台	手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その 他	発生月 = 6月	発生時間 = 12時～ 15時台	手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その 他	発生月 = 8月		手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その 他	発生月 = 9月	発生時間 = 0時～3 時台	手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その 他	発生月 = 9月	発生時間 = 9時～1 2時台	手術・治療・処置・歯科 外来治療

当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その他	発生月 = 9月	発生時間 = 15時～ 18時台	手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その他	発生月 = 10月		手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その他	発生月 = 11月		手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その他	発生月 = 12月		手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = その他	発生月 = 2月		手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 1～ 3	発生時間 = 15時～ 18時台		手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 10 ～12	発生週 = 火曜日		手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 10 ～12	発生週 = 木曜日		手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 7～ 9	発生時間 = 9時～1 2時台		手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 7～ 9	発生時間 = 3時～6 時台		手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 16 ～18			手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 13 ～15			手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経験年数区間 = 25 ～27			手術・治療・処置・歯科 外来治療
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科 領域	経験年数区間 = 7～ 9	発生月 = 11月		手術・治療・処置・歯科 外来治療

当事者職種 = 看護職員	発生場所 = その他					処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 0時～3 時台	発生週 = 火曜日	経験年数区間 = 1～ 3		処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 0時～3 時台	発生週 = 水曜日			処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 0時～3 時台	発生週 = 金曜日	経験年数区間 = 4～ 6		処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 0時～3 時台	発生週 = 金曜日	経験年数区間 = 19 ～21		処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 0時～3 時台	発生週 = 金曜日	経験年数区間 = 1～ 3		処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 0時～3 時台	発生週 = 日曜日			処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 0時～3 時台	発生週 = 土曜日			処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 9時～1 2時台				処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 12時～ 15時台				処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 15時～ 18時台				処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 4月	経験年数区間 = 4～ 6		処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 4月	経験年数区間 = 16 ～18		処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 5月			処方・与薬

当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 7月	発生週 = 金曜日	処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 7月	発生週 = 土曜日	処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 8月		処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 11月	発生週 = 木曜日	処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 12月	経歴年数区間 = 1～ 3	処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 3月	発生週 = 金曜日	処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 3月	発生週 = 月曜日	処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生月 = 3月	発生週 = 木曜日	処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 6時～9 時台			処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 不明			処方・与薬
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 内科 領域				処方・与薬
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生月 = 10月	経歴年数区間 = 7～ 9		処方・与薬
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生月 = 12月	経歴年数区間 = その 他		処方・与薬
当事者職種 = 医師	発生場所 = その 他	発生月 = 1月	発生週 = 金曜日		処方・与薬

当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経過年数区間 = その 他	発生月 = 4月	発生時間 = 0時～3 時台	処方・与薬
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経過年数区間 = その 他	発生月 = 4月	発生時間 = 18時～ 21時台	処方・与薬
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経過年数区間 = その 他	発生月 = 4月	発生時間 = 21時～ 24時台	処方・与薬
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経過年数区間 = その 他	発生月 = 9月	発生時間 = 12時～ 15時台	処方・与薬
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経過年数区間 = その 他	発生月 = 1月		処方・与薬
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経過年数区間 = 1～ 3	発生時間 = 0時～3 時台		処方・与薬
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経過年数区間 = 1～ 3	発生時間 = 18時～ 21時台		処方・与薬
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経過年数区間 = 1～ 3	発生時間 = 6時～9 時台		処方・与薬
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経過年数区間 = 10 ～12	発生週 = 日曜日		処方・与薬
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経過年数区間 = 7～ 9	発生時間 = 不明		処方・与薬
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科 領域	経過年数区間 = 1～ 3			処方・与薬
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科 領域	経過年数区間 = 7～ 9	発生月 = 4月		処方・与薬
当事者職種 = 臨床工学 技士					処方・与薬
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科 領域	経過年数区間 = 10 ～12	発生週 = 水曜日		調剤・製剤管理

当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科 領域	経験年数区間 = 7～ 9	発生日 = 3月		調剤・製剤管理
当事者職種 = 薬剤師					調剤・製剤管理
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生日 = 7月	発生週 = 日曜日	転倒・転落
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生日 = 12月	経験年数区間 = 19 ～21	転倒・転落
当事者職種 = その他	発生場所 = その 他	発生時間 = 12時～ 15時台			転倒・転落
当事者職種 = その他	発生場所 = その 他	発生時間 = 15時～ 18時台			転倒・転落
当事者職種 = その他	発生場所 = その 他	発生時間 = 18時～ 21時台			転倒・転落
当事者職種 = その他	発生場所 = その 他	発生時間 = 21時～ 24時台			転倒・転落
当事者職種 = その他	発生場所 = その 他	発生時間 = 3時～6 時台			転倒・転落
当事者職種 = その他	発生場所 = その 他	発生時間 = 6時～9 時台			転倒・転落
当事者職種 = その他	発生場所 = その 他	発生時間 = 不明			転倒・転落
当事者職種 = その他	発生場所 = 内科 領域				転倒・転落
当事者職種 = リハビリ 技師					転倒・転落
当事者職種 = 看護職員	発生場所 = 外科 領域	発生時間 = 18時～ 21時台	発生日 = 12月	経験年数区間 = その 他	療養上の世話

平成 16 年度

第一	第二	第三	第四	第五	場面
当事者職種 = 不明	発生時間 = 不明				その他の場面
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経験年数区間 = 1 ～3	発生時間 = 18時～ 21時台		その他の場面
当事者職種 = 医療資格 外職員	対象 = 外来患者				その他の場面
当事者職種 = 複数職種	発生場所 = 内科領域				その他の療養上の世話
当事者職種 = 患者	発生場所 = 外科領域	発生月 = 4月	発生時間 = 18時～ 21時台		ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 患者	発生場所 = 外科領域	発生月 = 5月			ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 患者	発生場所 = 外科領域	発生月 = 6月			ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 患者	発生場所 = 外科領域	発生月 = 8月			ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 患者	発生場所 = 外科領域	発生月 = 10月	発生時間 = 21時～ 24時台		ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 患者	発生場所 = 外科領域	発生月 = 12月			ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 不明	発生時間 = 0時～3 時台				ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 不明	発生時間 = 21時～ 24時台				ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経験年数区間 = そ の他	発生週 = 金曜日	発生時間 = 18時～ 21時台	ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経験年数区間 = 7 ～9	発生時間 = 18時～ 21時台		ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科領域	経験年数区間 = そ の他	発生月 = 4月		ドレージン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科領域	経験年数区間 = そ の他	発生月 = 6月		ドレージン・チューブ類

当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科領域	経過年数区間 = その他	発生日 = 10月		ドレーン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科領域	経過年数区間 = 1 ～3	発生日 = 5月		ドレーン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科領域	経過年数区間 = 1 ～3	発生日 = 7月		ドレーン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科領域	経過年数区間 = 4 ～6	発生日 = 12月		ドレーン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科領域	経過年数区間 = 7 ～9	発生週 = 火曜日		ドレーン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科領域	経過年数区間 = 7 ～9	発生週 = 金曜日		ドレーン・チューブ類
当事者職種 = その他	発生時間 = 12時～ 15時台				ドレーン・チューブ類
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経過年数区間 = 7 ～9	発生時間 = 21時～ 24時台		医療機器
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科領域	経過年数区間 = 1 6～18			医療機器
当事者職種 = 医療資格 外職員	対象 = 入院患者				医療機器
当事者職種 = 医療機器 医療材料					医療機器
当事者職種 = 臨床工学 技士	発生日 = 11月				医療機器
当事者職種 = 臨床工学 技士	発生日 = 1月				医療機器
当事者職種 = 臨床工学 技士	発生日 = 2月				医療機器

当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生月 = 3月			医療用具
当事者職種 = その他	発生時間 = 不明				医療用具
当事者職種 = 不明	発生時間 = 6時～9時台				検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生月 = 4月	経験年数区間 = 10 ～12		検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生月 = 5月			検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生月 = 6月			検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生月 = 9月	発生週 = 金曜日		検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生月 = 10月			検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生月 = 11月	経験年数区間 = その 他		検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生月 = 11月	経験年数区間 = 10 ～12		検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生月 = 11月	経験年数区間 = 16 ～18		検査
当事者職種 = 臨床検査 技師					検査
当事者職種 = 診療放射 線技師					検査
当事者職種 = その他	発生時間 = 9時～1 2時台				検査
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経験年数区間 = 1 3～15			合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経験年数区間 = そ の他	発生週 = 水曜日	発生月 = 5月	合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経験年数区間 = そ の他	発生週 = 月曜日		合併症・副作用・偶発症

当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経過年数区間 = その他	発生週 = 木曜日		合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経過年数区間 = その他	発生週 = 日曜日		合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経過年数区間 = 1 ～3	発生時間 = 6時～9 時台		合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経過年数区間 = 4 ～6	発生週 = 月曜日		合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経過年数区間 = 4 ～6	発生週 = 木曜日		合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経過年数区間 = 1 0～12			合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経過年数区間 = 1 6～18			合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経過年数区間 = 1 9～21			合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経過年数区間 = 7 ～9	発生時間 = 12時～ 15時台		合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経過年数区間 = 7 ～9	発生時間 = 15時～ 18時台		合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経過年数区間 = 2 8～30			合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経過年数区間 = 2 5～27			合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生日 = 4月	経過年数区間 = 7～ 9		合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生日 = 9月	発生週 = 水曜日		合併症・副作用・偶発症

当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生日 = 11月	経験年数区間 = 13 ~15	合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生日 = 11月	経験年数区間 = 4~6	合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生日 = 1月		合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = その他	発生日 = 2月		合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科領域	経験年数区間 = 1 ~3	発生日 = 2月	合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科領域	経験年数区間 = 4 ~6	発生日 = 7月	合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科領域	経験年数区間 = 1 0~12		合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 内科領域	経験年数区間 = 1 9~21		合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医薬品				合併症・副作用・偶発症
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経験年数区間 = そ の他	発生日 = 火曜日	指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経験年数区間 = そ の他	発生日 = 水曜日	指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経験年数区間 = そ の他	発生日 = 水曜日	指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経験年数区間 = そ の他	発生日 = 水曜日	指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経験年数区間 = そ の他	発生日 = 金曜日	指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経験年数区間 = そ の他	発生日 = 土曜日	指示・情報伝達
当事者職種 = 医師	発生場所 = 外科領域	経験年数区間 = 4 ~6	発生日 = 金曜日	指示・情報伝達